

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公表番号】特表2009-523552(P2009-523552A)

【公表日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-551405(P2008-551405)

【国際特許分類】

A 6 1 C 19/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 19/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の合わせられた三次元表面走査の際に、解剖構造の三次元表面表示を取得する工程と、

前記三次元表面表示の取得中に、リアルタイムで前記デジタル表面表示をディスプレイ内の前記解剖構造の二次元ビデオ画像に重ねる工程と、を含む方法。

【請求項2】

複数の画像データセットを使用して対象の表面から三次元ポイントクラウドを復元する工程であって、各画像セットは、視点からの前記対象の一部のビデオデータを含む、工程と、

新しい画像データセットを前記対象の新しい視点から取得する工程と、

前記新しい画像データセットに基づいてリアルタイムで前記三次元ポイントクラウドを更新する工程と、

レンダリングされたデジタル表面表示を提供するためにリアルタイムで前記三次元ポイントクラウドをディスプレイにレンダリングする工程と、を備える方法。

【請求項3】

走査機器とディスプレイを含む走査システムを操作するための方法であって、

前記走査機器は、表面データを連続的に取得するように適合され、1つ以上の走査パラメータを有し、

前記ディスプレイは、前記表面データから修復された複数の三次元点を含む、デジタル表面復元物を表示するように適合されており、

前記方法は、

前記走査機器の現在の視点から、前記ディスプレイ内の前記デジタル表面の復元物をレンダリングする工程と、

前記1つ以上の走査パラメータに関連する視覚キューを提供する工程とを含む、方法。

【請求項4】

前記1つ以上の走査パラメータは、前記走査機器から対象物までの最適距離を含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記視覚的キューは、前記ディスプレイ内の動的対象を含み、前記動的対象は、前記走

査機器と前記表面データの対象物との間の距離に関する情報を伝達するように適合される、請求項3に記載の方法。